

## 技術ノート KGTN 2020101503

### 現象

[GGH6.1] バージョン 6.1 では、負荷分散をどのような方法で行うことが出来るのか？

### 説明

GG で利用出来る負荷分散は、1) リレーサーバー機能、2) 一般のロードバランサー、3) 弊社開発の **GGEasyMonitor** の3つの方法があります。

「リレーサーバー機能」は GG に組み込まれた機能ですが、専用のサーバーを必要とすること、1台のリレーサーバーは数台の GG サーバーしか負荷分散を行えないこと、障害発生前後の対応で手間が掛かること、その他で使用した事例も少なく弊社ではお勧めしていません。

「一般のロードバランサー」は大規模案件等での利用実績がありお勧めですが、高価な（ハードウェア）ロードバランサーの購入が必要で GG サーバーが数台の小規模案件等ではコスト上の課題があります。ロードバランサーを用いて GG サーバーを振り分ける場合、各 GG サーバーのウェブサーバー機能のポート番号 80 のセッション数をカウントするのではなく、各 GG サーバーの APS のポート番号 491（変更している場合はそのポート番号）のセッション数のみをカウントして振り分けを行うようにロードバランサーの設定を行ってください。

「**GGEasyMonitor**」は小規模～中規模での負荷分散を前提とした弊社製品（ソフトウェア）で、小規模の案件では専用サーバーを使用せずに GG サーバーに同居させることが出来ます（これによりコストを抑えることが出来ます）。また単なる負荷分散機能に加え、特定ユーザーを特定の GG サーバーに振り分ける機能があり、柔軟な運用が可能です。

Last reviewed: Jan 05, 2021

Status: DRAFT

Ref: NONE

Copyright © 2020 kitASP Corporation